

本日は、ご多用の中、令和4年度第57回渡島公立学校教頭会研究大会にご参加いただき、ありがとうございます。開催にあたり、主催者を代表いたしましてご挨拶を申し上げます。

さて、依然としてコロナ禍における対策が継続しているところではありますが、各校におかれましては、多様化する教育課題への対応とともに令和の日本型教育の充実を目指した学校運営にご尽力いただいていることと存じます。このような中、当会では、今年度も引き続き「いつでも、どこでも、つながる教頭会」をキーワードに、ICTを活用しながら働き方改革を意識した運営（遠隔による事務局会議、ホームページの活用、経費削減等）を積極的に進めてまいりました。これにより情報共有が容易になり、地域にかかわらず役員の協働体制を構築することができました。一方で、昨年度の反省から重要なことを話し合ったり、研修を深めたりするために顔を合わせて話すことの大切さ（＝「協働的な学びを実践」していくこと！）が話題となりました。そこで、オンラインと集合によるハイブリッド開催の研究大会とし、今年度ご昇任となりました教頭先生方にはご参集いただき分科会を構成すると共に、北海道教育庁渡島教育局義務教育指導監 浦田 慎一 様を講師としてお招きし、ご講演を賜りながら研修の充実を図ることを目指しました。また、従前より開設していましたホームページを効果的に活用し、全国全道を踏まえた研究、会の運営や研究大会資料等、情報提供しながら今回の研究大会に向けて準備を進めてまいりました。当会では、各市町の学校運営に関わる情報を共有したり、共通の認識をもった研究を進めたりしながら横のつながりを密にし、教職員の意識を高めることで渡島の子供たちへより質の高い教育の提供に繋がる役割の一端を担っていると考えます。

当会の研究は、3年次研究の3年次目のまとめの年となりました。この3年間、「子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上」を研究主題にロードマップに基づき、ゴールを目指し研究と実践を推進してまいりました。学校教育における人材育成（後継者育成）や令和の日本型教育を基盤とした学校経営の推進、多様化する教育課題への対応等を行う中、持続可能な未来を切り拓きたくましく生きる力を育む子供たちの育成を目指し、令和5年度以降に向け、これまでの成果と課題を踏まえながら新たな研究主題を設定し、運営を進めていくこととなります。会員の皆様には、今後ともご支援ご協力をいただきながら、教頭会の運営を支えていただければと存じます。

終わりになりますが、本研究大会を開催するにあたり、ご講演を賜りました北海道教育庁渡島教育局義務教育指導監 浦田 慎一 様を始め、提言資料の作成や研究推進等いただきました各市町教頭会、運営準備を進めていただきました皆様のご苦勞に感謝申し上げます、ご挨拶といたします。